

2022年

12 / 5
月

関東放送シンポジウム

ラジオによる 地域社会への貢献

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

参加費
無料

14時～16時

ZOOMウェビナー **LIVE配信**

- 第2弾 -

主催：総務省関東総合通信局／一般社団法人日本コミュニティ放送協会 関東地区協議会

ラジオは、放送開始から長らく国民に身近なメディアとして存在し、大規模自然災害による長時間の停電発生時などにおいては、大切な情報発信ツールとして認識されております。また、地域社会を活性化する機能を有するメディアとしても重要な役割を果たしております。2回目となる本シンポジウムにおいても、産学官の皆様とともに、「災害時の役割」や「地域活性化」などの観点でのラジオによる社会貢献事例を通じて、「ラジオの存在意義」を見つめ直す機会として開催いたします。

プログラム

14:00 主催者挨拶 総務省関東総合通信局 新井 孝雄 局長



【基調講演】 14:05 「大規模災害時のラジオの役割」

武蔵大学 社会学部メディア社会学科 松本 恭幸 教授

東日本大震災の際に、被災地でコミュニティFM局による災害放送や臨時災害放送局の開局と運営についてのフィールド調査を踏まえ、今後の大規模災害時に向けて必要な対応や他所からの開局支援について紹介します。



【事例報告】 14:20～15:20 - ラジオによる地域社会への貢献事例 -

①『災害時におけるラジオ局との連携協力について』 神奈川県暮らし安全防災局防災部危機管理防災課 上平 義樹 応急対策グループリーダー

神奈川県の防災体制及び情報発信、また神奈川エフエムネットワーク及び株式会社ニッポン放送との協定、災害時にラジオに期待することについて、説明します。

②『心がつながる声の橋「今日どう？（協働）」』

西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ 小松 真弓 センター長／にしにしnet. 山田 益己 副代表

地域活動をする団体や個人が参加・協力・連携する「地域協力ネットワーク」が、地域の『今』を住民の『生の声』でお届けする生放送番組「こみゆらジ」を立ち上げました。現在そして未来の地域の声をお届けします！

③『新しい産学連携のカタチ、ラジオを架け橋に地域の若年層を応援』 株式会社武蔵境自動車教習所 営業部 小林 良太

将来を担う子ども達へできる応援とは何か？その応援を通じて、地域全体を活性化するべく地域コミュニティFMと自動車教習所がタッグを組んで進行中。個性豊かな学生や先生の存在は、多くの共感を呼んでいます。

④『関東地域における臨時災害放送局の効果的な開設・運用について』 関東総合通信局放送部放送課 奥野 一人 課長補佐
～放送大学FM放送跡地（77.1MHz、78.8MHz）の活用～

関東地域では、放送大学FM放送跡地は、臨時災害放送局の専用周波数と定められています。災害時にその被害の軽減に役立つ臨時災害放送局の開局・運用に関する課題やその解決へ向けた取組を紹介します。

【パネルディスカッション・質疑応答】 15:25～15:55

16:00 クロージング

参加申込みはこちらからアクセスしてください

<https://forms.gle/AkNJKWww5TBMDdFd6>



<連絡先>

総務省 関東総合通信局 放送部放送課（ラジオ担当） 電話：03-6238-1705